



## Tanabe East Rotary Club in 2020-21

2020-21年度RI会長

ホルガー・クナーク

第2640地区ガバナー：藤井 秀香

田辺東ロータリークラブ

創立：昭和49年5月15日

会長：本田 耕二

幹事：竹中 悟



例会場/事務所：田辺市下屋敷町81-10

きのくに信用金庫田辺支店3F

Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008

http://tanabe-east-rc.com/

E-mail info@tanabe-east-rc.com

例会：毎週水曜日 12:30～

ビジターフィー ¥2,000

## ○会長報告

会長 本田 耕二



■本日のプログラムは、会員卓話として坂本正人君にお話して頂きます。後ほど宜しくお願い致します。

■9月9日(水)に定例理事会を開催いたしました。

◎竹中悟君について…2ヶ月の出席義務免除を申請され、承認。

◎9月の例会運営について…9月30日から例会開始しますが、自由出席、時短例会とします。10月からも、しばらくの間は自由出席とします。

◎新入会員について…承認。龍見小夜子様(8月5日(水)の例会に見学のため出席)

◎田辺市暴力追放協議会街頭啓発パレードへ参加することについて(10月20日(火))…承認。メイクアップとする。

■本日の例会終了後、ゴルフ同好会は「薄暮ゴルフコンペ」を開催いたします。これらの連絡などを会員間で確実に伝えるため、LINEのアプリを使ってグループ登録をしておこなうか考えております。ご検討をお願いします。

■本日のお弁当は「この葉」さんです。ご賞味下さい。

◎あるこう会「ひじょうま報告 第207回」

◎「ハイライトよねやま245号、246号」

◎「英語版ロータリアン8月号、9月号」

◎田辺・弁慶映画祭実行委員会より

「第14回 田辺・弁慶映画祭 オンライン開催のお知らせ 日時：11月13日～15日」

◎和歌山県秘書課より「新型コロナウイルス感染症に関する」『県民の皆様へのお願い 8月6日、8月20日』

『イベント開催制限の目安 9月1日以降』

『県民の皆様へのお願い 9月3日』

『イベント開催制限の目安 9月19日以降』

◎和歌山県福祉保健部長より

「令和2年度 麻薬・覚醒剤乱用防止運動 実施について」

◎一般社団法人ロータリーの友事務所より

「2020-2021年度 ロータリーの友 手引書」

「新型コロナウイルス感染症に関する友事務所対応の件(8報)」

■皆さん、お久しぶりです。8月12日のお盆休みに続き8月19日～9月23日の例会を取り止めとさせて頂きました。田辺市管内において多数のコロナ感染者が出ましたので、大変な危機感を持たざるを得ない状況となりました。会員各位様におかれましては、非常にもどかしい状況だったと思います。

ですが、9月に入ってから田辺市管内においての感染者は少なくなり、落ち着いております。そこで本日から、予防対策を取りながら例会を開催いたします。よろしくお願ひいたします。

■9月26日(土) ホテルレイクアルスターアルザ泉大津に於いて、「クラブ米山委員長会議及びカウンセラー研修会」が開催されました。クラブ奉仕F委員長の坂本正人君に出席して頂きました。ご苦労様でした。

## ○幹事報告

幹事 竹中 悟

代理 玉置 佳範



## ■例会日時変更

◎有田RC 10月29日(木) → 休会

◎和歌山南RC 10月30日(金) → 休会

## ■メイクアップ

◎9月26日(土) クラブ米山委員長会議・カウンセラー研修会 坂本正人君

## ■回覧

◎週報「田辺RC」「田辺はまゆうRC」「串本RC」「那智勝浦RC」「橋本RC」「粉河RC」



## ■回覧

### ◎田辺市暴力追放協議会より

「令和2年度 田辺市暴力追放協議会総会書面表決の結果について」

### ◎国際ロータリー日本事務局より

「RI日本事務局 財団室NEWS 8月号、9月号」

「会員増強・新クラブ結成推進月間 リソースのご案内」

「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた『日本事務局在宅勤務』延長のお知らせ」

### ◎藤井ガバナー事務所より

「ガバナー月信 8月号、9月号」

「新型コロナウイルスの対応について お知らせ」

「公式訪問につきまして お伺い及びお願い」

「My ROTARYアカウントの作成方法」

「特殊切手『日本のロータリー100周年』の発行 日本郵便株式会社より」

「通信販売についてのお知らせ」

「2020-2021年度 青少年長期交換派遣学生の募集中止について」

「クラブ活動報告(月次)のお願い」

「『クラブ社会奉仕委員長会議』のご案内 出欠願い」

「2020-21年度クラブ米山委員長会議 及び カウンセラー研修会のご案内 9月26日」

「アフリカ地域の野生型ポリオ根絶認定について」

「ロータリー文庫通信383号のご案内」

「HP利用方法のご案内」

「①第49回ロータリー研究会案内及びご登録について」

「②ロータリー研究会プログラム(バーチャル公開)」

「③バーチャルパネルディスカッション テーマ紹介」

「④第49回ロータリー研究会お知らせ(RI会長への質問)」

「⑤第49回ロータリー研究会第2部参加勧誘のお願い【ガバナー宛】」

「⑥第49回ロータリー研究会登録申込書」

「⑦第4回地区参加者名簿」

「第7回日台ロータリー親善会議開催中止に関するご報告」

「2021年 台北国際大会分科会開催のご案内」

## ■連絡

◎9月のロータリーレートは 1ドル=106円です。

◎ロータリーの友9月号、10月号が届いています。各自のトレイに入れてあります。

◎来週の例会から10月に入りますので、上着着用での出席をお願いいたします。

## ○出席報告

会員数 40名 義務免除 4名 本日の欠席者 8名  
本日出席率 77.78% 7月29日の修正出席率 91.67%

## ○委員会報告

◎ゴルフ同好会 野村憲司君

本日の例会終了後、ゴルフ同好会は「薄暮ゴルフコンペ」を開催いたします。久しぶりのゴルフです。楽しみましょう！



## ○にこにこ報告

(敬称略)

◇坂本さん、卓話がんばってください。

愛須勝章、上原俊宏、浦地章、岡本博、片井貢、佐田一三、武田静也、竹村英一、谷中順次郎、谷本司、豊田正人、中嶋伸和、野村憲司、本田耕二、丸山博之、森本修至、山本亘、吉田和枝

◇泉房次郎 米山委員長会議の結果報告の様です。頑張ってください。

◇坂本正人 プログラム5分間頑張ります。

◇山本亘 例会のお花いただきます。

<奥様誕生日>

◇玉置佳範

私の妻の誕生日は9月3日です。ドラえもんの誕生日と同じです。実は今年は妻の誕生日を忘れかけていました。ですが車で走っていてラジオから「今日はドラえもんの誕生日です」と聞きどうにか忘れることができました。和歌山放送ありがとうございます！

<本人誕生日>

◇畑地誠

<結婚記念日>

◇渡口真二

◇野中信広



## ○本日のプログラム

会員卓話

クラブ奉仕F委員長  
坂本 正人 君



2020年～2021年  
国際ロータリー2640地区  
米山記念奨学委員会

ガバナー藤井秀香  
委員長 玉井洋司

9月26日(土) 米山記念奨学委員長会議  
☆12:30～ カウンセラー研修会  
☆14:00～ クラブ米山委員長会議  
☆16:00 閉会

### 【内容】

◎今期奨学生は総数19名(内継続学生8名)  
中国6名 韓国2名 ミャンマー2名 ベトナム2名  
香港2名 マレーシア1名 エジプト1名 タイ1名  
メキシコ1名 カンボジア1名

昨年度の寄付金(収入)総額で約13億3800万円  
(支出)学生への奨学金は総額で約14億6200万円  
不足分はこれまでの積立金で賄った。

2640地区では現在、会員お一人様から一年間6,000円を普通寄付金として頂いておりますが、その他特別寄付金としてお一人様9,000円 合計15,000円(一年間)をお願いしております。  
各地区の米山奨学生の受入れ人数の決定は寄付金総額によって決められています。どうか米山奨学生が将来、本国と日本国の架け橋となってくれることを信じ、またその学生が国の主要なポジションにつくかもしれません(大統領や外相)。  
上記ご理解を賜り、よろしくお願い申し上げます。

## ★ ロータリー米山記念奨学会について

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが協同で運営する奨学財団であり、財源は主に会員の寄付で成り立っています。日本独自のプログラムですが、国際ロータリー(RI)からも国内全34地区の多地区合同活動として認められています。1967年に財団法人設立、2012年1月には公益財団法人に移行しました。

## ★ 支援の対象は外国人留学生

事業開始から一貫して、日本の大学・大学院などで学ぶ外国人留学生を対象にしています。2019年4月採用の奨学生数は全国で869人と、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。これまでに累計で、世界129の国と地域からの留学生21,024人を支援しています(2019年7月1日現在)。

## ★ 世界の平和を願って始まった国際奨学事業

事業の始まりは1952年東京ロータリークラブ(RC)の当時の会長、古澤丈作氏によってつくられた、海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本へ招き、奨学支援する「米山基金」の構想にさかのぼります。「米山」とは、“日本のロータリーの父”と呼ばれた米山梅吉氏(1868～1946)のことです。タイから初めて奨学生を迎えたのは2年後の1954年。以降は、海外からの招へいではなく、在日留学生への支援に方針を変え、東京RCの単独事業から全国の地区に拡大・発展しました。留学生数の増加に伴い、ロータリー所在国に限らず世界に門戸を開くなど、時代とともに変化しながらも、ロータリアンと外国人留学生との交流を通じて国際親善と世界の平和に寄与する、という事業の目的を今日まで貫いてきました。

## ★ 最大の特徴は世話クラブ・カウンセラー制度

その目的を実現するための制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には、地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、会員の一人が「カウンセラー」となって、日常の相談相手や交流の橋渡し役となります。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、大学生活では得られない出会いと交流を通じて、日本の心、ロータリーの心を学びます。会員にとっても、多様な文化や価値観への理解を広げる機会になっています。

## ○今日のお弁当

本日はこの葉さんのお弁当です。  
美味しくいただきました。



## ○次回プログラム

10月7日 新入会員卓話 龍見小夜子様  
10月14日 tanabe en+  
南紀みらい株式会社 専務 尾崎 弘和 様  
10月21日 ガバナー補佐 事前訪問  
田辺はまゆうRC 菅根 清 様

四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか